

第1回

児童福祉司（1～2年目）Ⅰ

令和5年度児童相談所関連研修

日程

6月1日(木)、2日(金)【2日間】

第2回は、6月5日(月)・6日(火)に実施します。

※一部教科目は講師が異なります。

対象

子ども家庭福祉・母子保健等に携わる職員
(メインターゲット:児童福祉司1～2年目の職員)
【定員60名】

ねらい

児童福祉司（1～2年目職員）として求められる基礎的な知識・スキルを身につけ、調査・社会診断に基づき、子どもと家庭における課題を把握すると共に、的確なアセスメントに基づく相談援助・対応等を行うことができる実践的能力の向上を図る。

場所

特別区職員研修所

(千代田区九段北1-1-4 東京区政会館別館)

※研修カリキュラムは、次ページに掲載しています。

カリキュラム

6月	時間	教科目	講師名（敬称略）
1日 (木)	9:00 } 13:00	<p>法医学からみた子どもの損傷（講義）</p> <p>損傷の種類や受傷記録の取り方のポイントなどについて実際の損傷事例をスライドで示しながら、講義を行います。</p> <p><u>※研修中、被虐待児童の外傷や解剖の画像が投影されることを、予め、お知らせします。過去の虐待死亡事件に関する個人情報に触れることがありますので、守秘義務の厳守をお願いします。</u></p>	<p>横浜市立大学 大学院医学研究科 法医学 教授 井濱 容子</p>
	14:00 } 17:00	<p>関係機関が思う多機関連携（講義・演習）</p> <p>虐待対応で連携することの多い機関の方をお招きし、支援の必要な家庭に対する関係機関との連携の現状と課題などについてご説明いただき、質疑応答を交えて多機関連携についての理解を深めます。</p>	<p>14:00～15:20 ①医療ソーシャルワーカーの視点 帝京大学医学部附属病院 医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 小柳 佳南子</p> <p>15:30～17:00 ②学校の視点 都内指導主事経験者</p>
2日 (金)	9:00 } 17:00	<p>初期対応に役立つ 子ども・家庭相談援助の基礎知識（講義・演習）</p> <p>下記3つの教科目で構成します。</p> <p>①子どもの傷つきに寄り添うための基礎知識 トラウマや愛着などの基本的な知識を学びます。</p> <p>②アセスメント 事前にアセスメントシートを作成し、5分間でケース報告を行う演習をします。</p> <p>③子ども、家族との面接 面接場面での困りごとや課題をグループ討議し、みんなでより良い面接について考えていきます。</p>	<p>大正大学 心理社会学部 臨床心理学科 教授 近藤 直司</p>